

成果指標 5. いしかわ観光周遊確保率

石川県では、交流人口の拡大による地域振興を目指しており、観光活性化を支援する道路整備が求められています。観光周遊性を示す成果指標として、観光周遊を担う道路における整備済み延長の割合を採用しています。また、はじめて訪れる観光客にも分かり易い標識の整備が求められています。標識の分かり易さを示す成果指標として、国道及び県道が交差する交差点のうち、路線番号を表示した案内標識の設置箇所数の割合を採用しています。

$$\text{観光周遊道路確保率} = \frac{\text{観光周遊確保に向けた整備が行われた延長}}{\text{観光周遊道路の総延長}}$$

- * 対象道路：観光周遊道路（国道、県道）約 235km。なお、ダブルラダー指定路線については、成果指標 2「高速ネットワーク確保率」においてすでに評価対象としているため、対象道路から除く
- * 観光周遊の確保に向けた整備が行われた道路とは、能登回廊を担う道路は車道幅員 5.5m 以上が確保されている道路、降雪の多い加賀・白山回廊を担う道路は堆雪幅が確保された道路（車道幅員 8.5m 以上）、もしくは、消雪パイプやスノーシェッドの雪対策がなされた車道幅員 5.5m 以上の道路の延長

$$\text{観光標識確保率} = \frac{\text{路線表示見直し整備が行われた箇所}}{\text{国道および県道が交差する県内の交差点数}}$$

- * 対象道路箇所：県内全ての国道及び県道を対象とし、国道及び県道が交差する交差点 594 箇所（平成 15 年度中の計画見直しにより、対象道路箇所が 583 箇所から 11 箇所増加した）

成果に向けた取組み

■ 観光交流を促進する道路環境の確保

観光交流を促進するため、「能登回廊」「加賀・白山回廊」など、観光拠点間を連絡する道路や岬など眺望が良い道路において、四季を通じて快適に走行できる道路環境を確保します。

■ 「道の駅」の整備

地域の情報を発信し、交流の拠点となる「道の駅」の整備を進めます。

■ 分かりやすい道路の整備

路線番号を表示した案内標識の整備など、はじめて訪れる観光客が安心して目的地へ行けるよう分かりやすい道路を目指します。

成果指標の動向

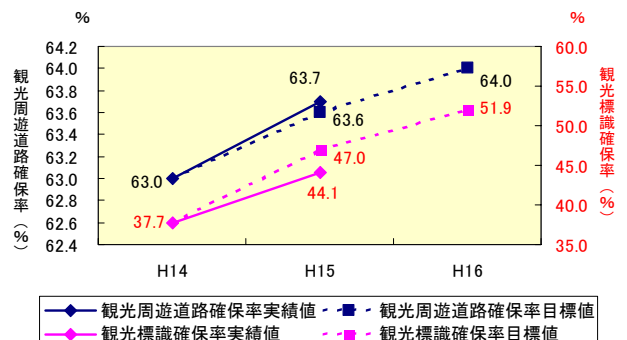
- 観光周遊道路確保率は、平成 14 年度の 63.0%（147.6km）から、平成 15 年度の 63.7%（149.4km）へと 0.7%（1.8km）増加し、目標を達成しました。平成 16 年度は、観光周遊回廊整備事業等の効果的な整備により、平成 14 年度実績から 1.0%増（2.5km）を目標とします。
- 観光標識確保率は、平成 14 年度の 37.7%（224 箇所）から、平成 15 年度の 44.1%（262 箇所）へと 6.4%（38 箇所）増加しましたが、目標を下回りました。平成 16 年度は、観光ルート上での重点的な標識の整備により、平成 14 年度実績から 14.2%（84 箇所）の増加を目標とします。

観光周遊道路確保率

平成 14 年度の実績		63.0% (147.6km)
平成 15 年度	計画	63.6% (149.2km)
	実績	63.7% (149.4km)
平成 16 年度の目標		64.0% (150.1km)

観光標識確保率

平成 14 年度の実績		37.7% (224 箇所)
平成 15 年度	計画	47.0% (279 箇所)
	実績	44.1% (262 箇所)
平成 16 年度の目標		51.9% (308 箇所)



達成度報告（平成 15 年度の成果）

■ 平成 15 年度に供用した主な箇所

路線名	区間	延長	整備内容
①(主)志賀富来線	富来町福浦港	1.5km	新設(バイパス)

■ 道の駅やポケットパーク等の整備

能登の海岸線や加賀の山地など、美しい自然を満喫できるとともに、地域情報の発信拠点となる道の駅やポケットパーク等の整備を行いました。

項目	H14 末	H15 末計画	H15 末実績
道の駅整備数	9 箇所	12 箇所	12 箇所
ポケットパーク整備数	45 箇所	46 箇所	46 箇所

H15 年度に供用した主な道の駅・ポケットパーク

名称	箇所名
道の駅「能登空港」	輪島市三井町洲衛
道の駅「一向一揆の里」	鳥越村出合
道の駅「瀬女」	尾口村瀬女
ねやフィッシングパーク	能登島町閨

道の駅能登空港



①(主)志賀富来線



道の駅瀬女



道の駅一向一揆の里



VOICE（利用者の声）



山中温泉・ポタン会
須谷 正代さん

近くて遠い隣町との行き来がとてもし便利になりました

丸岡町、永平寺町は、山中町の隣町でありながら、つづら折れの峠越えのため、大型バスが通れず、今まで、観光コースとして紹介される事はありませんでした。

今春の一般国道 364 号の丸岡山中温泉トンネルの開通によって、観光の流れは大きく変わりました。

これまで、近くて遠かった丸岡町、永平寺町から隊列をなして乗用車が訪れ、5月の連休には雨模様にも拘わらず過去最高の人手で町中が賑わいました。

加賀百万石の支藩であった大聖寺藩は番所を置き、厳しく往來を規制していた時代、山中漆器や一向宗の信仰等の山中町の礎となる文化が交流してきた『径（みち）』が、今新たに『道路』に生まれ変わり、一層の交流が期待されます。

（平成 16 年 6 月 25 日「道全協だより」より抜粋）

業績計画（平成16年度の取組み）

■ 平成16年度に供用を予定している主な箇所

路線名	区間	延長	整備内容
①(主)能都内浦線	能都町小浦	0.1km	新設(バイパス)
②(主)小松山中線	加賀市勅使 <small>ちよくし</small>	0.1km	拡幅

①(主)能都内浦線



■ 道の駅の整備

項目	H15 末	H16 末計画	増
道の駅整備数	12箇所	16箇所	4箇所

H16年度に供用を予定している道の駅

名称	箇所名
道の駅「のとじま」	能登島町向田
道の駅「ころ柿の里しか」	志賀町末吉
道の駅「倶利伽羅 源平の郷」	津幡町竹橋
道の駅「山中温泉 ゆけむり健康村」	山中町こおろぎ町

※平成16年度に供用を予定しているポケットパークはありません。

②(主)小松山中線



道の駅山中温泉 ゆけむり健康村



道の駅
ころ柿の里しか



道の駅のとじま



道の駅倶利伽羅 源平の郷

主要観光拠点案内標識の整備

● 能登空港

能登空港を利用する観光客の利便性を図るため、七尾市以北の主要な都市や観光地と能登空港を結ぶ案内標識59基を平成15年度に整備しました。

<整備前>



<整備後>



(主) 穴水門前線 小又交差点 (穴水町)

● 加賀温泉郷

加賀温泉郷への円滑な誘導を図るため、各温泉観光協会との連携のもと、誘導ルートや標識設置計画を策定し、平成15・16年度の2ヵ年計画で、19基の案内標識の整備を進めています。



(主) 金沢美川小松線 城南町西交差点 (小松市)